

令和6年度 シラバス

教科	保健体育	科目	保健（2年）	必修・選択	単位数	1
教科書・副教材等	現代高等保健体育（大修館書店）					
学習の到達目標	<p>1 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けます。</p> <p>2 健康についての課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養います。</p> <p>3 生涯を通じた健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養います。</p>					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度			
	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた健康や環境の適切な取り組み方について理解を深めるとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を身に付けるとともに、現在及び将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにすることを目指そうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。			
評価の方法	定期考査、ノート・レポートの記述内容、ノート・レポートの作成、発表、授業・実習に取り組む態度、ルーブリック評価					
	単元		主な学習内容			
前期	<p>1 生涯を通じる健康</p> <p>(1) ライフステージと健康</p> <p>(2) 思春期と健康</p> <p>(3) 性意識と性行動の選択</p> <p>(4) 妊娠・出産と健康</p> <p>(5) 避妊法と人工妊娠中絶</p> <p>(6) 結婚生活と健康</p> <p>(7) 中高年期と健康</p> <p>(8) 働くことと健康</p> <p>(9) 労働災害と健康</p> <p>(10) 健康的な職業生活</p> <p>2 健康を支える環境づくり</p> <p>(1) 大気汚染と健康</p> <p>(2) 水質汚濁、土壌汚染と健康</p> <p>(3) 環境と健康にかかわる対策</p> <p>(4) ごみの処理と上下水道の整備</p> <p>(5) 食品の安全性</p> <p>(6) 食品衛生にかかわる活動</p> <p>(7) 保健サービスとその活用</p> <p>(8) 医療サービスとその活用</p> <p>(9) 医薬品の制度とその活用</p> <p>(10) さまざまな保健活動や社会的対策</p> <p>(11) 健康に関する環境づくりと社会参加</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・思春期における心身の発達や健康課題について特に性的成熟に伴い、心理面、行動面が変化することについて理解します。性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解します。 ・健康な結婚生活について、心身の発達や健康状態など保健の立場から理解し、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題や家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解します。 ・中高年期を健やかに過ごすための適切な健康習慣を保つこと、健康状態、生活状況に対する種々の施策が行われていることを理解します。 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量に変化してきたことを理解し、働く人が日常生活における生活の質の向上を図ることが重要であることを理解します。 ・人間の生活や産業活動に伴う大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などは人々の健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあることを理解します。また、健康への影響や被害を防止するには、汚染物質の大量発生を抑制したりすることなどが必要であることを理解します。 ・食品の製造・加工・保存・流通などの各段階での適切な管理が重要であることを理解します。 ・我が国には、人々の健康を守るための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから保健に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることを理解します。 ・我が国や世界では、健康の保持増進を図るために、健康課題に対応して各種の保健活動や対策が行われていることについて理解します。また、日本赤十字社などの民間の機関の諸活動や対策を充実するには、一人一人が生涯の各段階でそれらを理解し支えることが重要であることを理解します。 			